

3 健康で、はつらつとしたまちをめざして — 次世代育成・健康福祉・教育・生涯学習 —

だれもがいつまでも健康で、また地域とともにより質の高い教育をめざすまち、次世代のためにもみんなが互いに助けあい、健康と福祉の向上をめざすやさしいまちの実現をめざします。

◆十小学童クラブ第三の新設

1億8,943万4千円

担当：子育て支援課

予算書掲載ページ：152

入会児童数の増加に対応するため、学校隣接の土地を取得し、十小学童クラブ第三（定員40人）を新設します。

予算の内訳（使いみち）

●新築工事	8,818万2千円
●土地購入費	1億円
●設備器具費	125万2千円

財源内訳

■国の負担額	814万2千円
■都の負担額	4,471万6千円
■小平市の負担額	1億3,657万6千円
（うち市の貯金取崩し	800万円）
（うち市の借金	1億2,170万円）



十小学童クラブ第二の様子

◆指定管理者による学童クラブの管理運営

4,628万9千円

担当：子育て支援課

予算書掲載ページ：152

十一小学童クラブ第一及び十五小学童クラブ第一について、平成28年度から指定管理者による管理・運営を行います。

予算の内訳（使いみち）

●サービス業務委託（増分）	4,628万9千円
---------------	-----------

財源内訳

■都の負担額	1,307万4千円
■小平市の負担額	3,321万5千円

◆子ども家庭支援センター事業の充実

1,600万円

担当：子育て支援課

予算書掲載ページ：146

青少年センターの廃止に伴い、子ども家庭支援センターのスペースを拡張するとともに、家庭や進路等の悩みを抱える中高生からの相談に対応するため、新たに、専任の相談員を配置します。

予算の内訳（使いみち）

●サービス業務委託（増加分）	288万8千円
●改築工事	1,200万円
●教材教具等購入費	111万2千円

財源内訳

■都の負担額	663万6千円
■小平市の負担額	936万4千円



子ども家庭支援センターの様子

◆認可保育園（私立保育園）の新設

5億5,494万6千円

担当：保育課

予算書掲載ページ：140

私立保育園4園（うれしい森保育園・小平花小金井雲母（きらら）保育園・仲町にここ保育園・学園まるやま保育園）を開設します。4園の開園により、280名の定員の拡充を図ります。また、旧仲町公民館跡地に、私立保育園を新設するための園舎整備に対して補助を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 保育実施等委託（増分） 4億2,002万1千円
- 私立保育園園舎建築補助 1億3,162万5千円
- 私立保育園建設用地整備工事 330万円

財源内訳

- 保育料 5,400万9千円
- 国の負担額 8,790万6千円
- 都の負担額 1億5,364万円
- 小平市の負担額 2億5,939万1千円
（うち市の借金 1,750万円）



平成28年4月開設の「小平花小金井雲母（きらら）保育園」

◆地域における保育・子育て支援

90万円

担当：保育課

予算書掲載ページ：142、144

公立保育園6園に地域支援担当保育士を新たに配置し、認定家庭福祉員などとの連携を図るとともに、子育てふれあい広場・子育て相談などの充実を図り、地域の子育て支援に取り組みます。

予算の内訳（使いみち）

- 消耗品費 30万円
- 設備器具費 60万円

財源内訳

- 小平市の負担額 90万円

◆子ども・若者計画の策定

324万2千円

担当：子育て支援課

予算書掲載ページ：80

平成29年度で計画が終了する「第2次小平市青少年育成プラン」に替わる計画として、子ども・若者育成支援推進法に基づき、「子ども・若者計画」を策定します。

平成28年度は、実態調査を実施します。

予算の内訳（使いみち）

- 委員報酬（増分） 24万2千円
- 調査等委託 300万円

財源内訳

- 小平市の負担額 324万2千円

◆男女共同参画推進計画の策定

372万6千円

担当：市民協働・男女参画推進課

予算書掲載ページ：78

平成28年度で計画期間が終了する「第二次小平市男女共同参画推進計画（小平アクティブプラン21）」について、平成27年度に引き続き策定業務を行い、平成28年度に計画書を発行します。

予算の内訳（使いみち）

- 委員報酬 72万6千円
- 計画策定委託 300万円

財源内訳

- 小平市の負担額 372万6千円

◆出会いの創出

135万円

担当：政策課

予算書掲載ページ：60、62

『出会い』の場を創出することで、結婚・出産の希望をかなえるとともに、若い世代の交流人口の増加や定住のきっかけづくりとします。

予算の内訳（使いみち）

- サービス業務委託（イベント等） 135万円

財源内訳

- 国の負担額 67万5千円
- 小平市の負担額 67万5千円

☆その他の事業（次世代育成）

◆民間保育園・認証保育所等経費	42億3,804万円
◆市立保育園の運営経費	18億1,629万8千円
◆私立幼稚園等経費	9億4,764万7千円
◆児童助成経費 （児童手当、児童扶養手当、乳幼児医療費助成など）	46億2,805万2千円
◆ひとり親福祉経費（ひとり親家庭医療費助成、母子相談など）	1億1,787万円
◆学童クラブ経費	4億1,674万4千円
◆児童館経費	5,796万3千円

◆健康増進計画の策定

372万5千円

担当：健康推進課

予算書掲載ページ：160

市民の健康増進を図るため、健康増進法に基づき平成29年度から平成34年度までを計画期間とする「健康増進計画」を策定します。平成28年度は前年度に実施した実態調査結果を踏まえ、計画検討委員会における検討等を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 委員謝礼 72万5千円
- 計画策定等委託 300万円

財源内訳

- 小平市の負担額 372万5千円

◆妊婦健康診査の充実

1,400万円

担当：健康推進課

予算書掲載ページ：166

母子の健康の保持及び増進を図るため、健康診査項目に、HIV抗体検査・子宮頸がん検診を加えます。また、超音波検査の対象について、35歳以上という年齢要件を廃止し、全ての妊婦に拡大します。

予算の内訳（使いみち）

- 健康診断等委託（増分） 1,303万9千円
- 里帰り等妊婦健康診査助成（増分） 91万4千円
- 需用費 4万7千円

財源内訳

- 小平市の負担額 1,400万円

◆こだいら健康体操（こだ健体操）の普及啓発

64万2千円

担当：健康推進課

予算書掲載ページ：166、168

より多くの市民が「こだいら健康体操」を行うことができるように、現在の「こだいら健康体操」に加えて、全世代向けの「こだいら健康体操」を考案し、普及啓発を行うことにより、幅広い世代の健康づくりを推進します。

予算の内訳（使いみち）

- 健康運動指導士謝礼（増分） 45万5千円
- パンフレット作成等委託 7万1千円
- 賃金、需用費 11万6千円

財源内訳

- 都の負担額 32万円
- 小平市の負担額 32万2千円



こだいら健康体操の様子

◆特定健康診査の受診率の向上

784万6千円

担当：保険年金課

平成28年度小平市国民健康保険事業特別会計予算書掲載ページ：38

特定健康診査の受診率向上を図るため、健診の未受診者に対して、健康センターで集団検診を実施します。さらに、人間ドックを国内のどこの医療機関で受診しても補助が受けられるようにすることで、利用者の拡大を図ります。

予算の内訳（使いみち）

●臨時職員	13万4千円
●謝礼	3万7千円
●消耗品費	1万円
●通信運搬費	11万8千円
●特定健康診査等委託	604万7千円
●人間ドック利用費補助（増分）	150万円

財源内訳

■国の負担額	90万2千円
■都の負担額	90万2千円
■小平市の負担額	604万2千円

◆地域保健福祉計画・福祉のまちづくり推進計画の策定

396万4千円

担当：生活支援課

予算書掲載ページ：110

地域における福祉施策を推進していくため、社会福祉法に基づく「地域保健福祉計画」と、小平市福祉のまちづくり条例に基づく「福祉のまちづくり推進計画」とを一体的なものとして策定します。平成28年度は、実態調査を実施します。

予算の内訳（使いみち）

●福祉のまちづくり推進協議会委員謝礼	96万4千円
●実態調査等業務委託	300万円

財源内訳

■小平市の負担額	396万4千円
----------	---------

◆地域包括ケアシステムの推進

1億617万8千円

担当：高齢者支援課

予算書掲載ページ：126、130

鈴木町に認知症高齢者グループホームを開設するための、施設整備費及び開設準備費に対して補助を行います。また、現在の「地域包括ケア推進計画」の計画期間が平成29年度をもって終了するため、平成30年度から平成32年度を計画期間とする、次期の計画を策定します。平成28年度は、実態調査を実施します。

予算の内訳（使いみち）

●実態調査支援委託	300万円
●認知症高齢者グループホーム補助	1億317万8千円

財源内訳

■都の負担額	1億317万8千円
■小平市の負担額	300万円

◆地域支援事業の再編成（介護保険事業）

6億242万5千円

担当：高齢者支援課

平成28年度小平市介護保険事業特別会計予算書掲載ページ：30、32、34、36

平成27年度の介護保険制度の改正により、介護予防訪問介護と介護予防通所介護が地域支援事業へ移行することを受け、介護保険事業特別会計の地域支援事業の再編成を行います。再編成後の地域支援事業においては、介護予防・日常生活支援総合事業を開始するとともに、地域包括支援センターの機能強化などを行うことにより、地域包括ケアシステムの構築を推進します。

予算の内訳（使いみち）

- 介護予防・日常生活支援総合事業費
3億6,773万9千円
- 包括的支援事業・任意事業費
2億3,468万6千円

財源内訳

- 国の負担額 1億7,437万8千円
- 都の負担額 1億501万3千円
- 保険料 1億3,083万円
(うち保険料の貯金取崩し 401万2千円)
- 支払基金交付金 1億296万6千円
- 小平市の負担額（一般会計繰入金）
8,923万8千円

◆障害福祉計画の策定

170万円

担当：障がい者支援課

予算書掲載ページ：110

現在の「障害福祉計画」の計画期間が平成29年度をもって終了するため、平成30年度から平成32年度を計画期間とする、次期の計画を策定します。平成28年度は、実態調査を実施します。

予算の内訳（使いみち）

- 実態調査等業務委託 170万円

財源内訳

- 小平市の負担額 170万円

◆障害者移動支援事業の充実

792万1千円

担当：障がい者支援課

予算書掲載ページ：118

移動支援事業の対象者に、知的障がいと身体障がいを併せ持つ、重度の重複障がい者・児を加え、障がい者の自立した地域生活と社会参加の実現を推進します。

予算の内訳（使いみち）

- 移動支援費（増分） 792万1千円

財源内訳

- 国の負担額 396万円
- 都の負担額 198万円
- 小平市の負担額 198万1千円

◆障がい者グループホームの自立支援給付費等の支援

1,699万5千円

担当：障がい者支援課

予算書掲載ページ：114、120

障がい者グループホームを1か所増設(定員5名)し、入所者の共同生活援助費等の支援を行います。現在、市内には身体2か所、知的18か所、精神2か所の計22か所のグループホームがあります。

予算の内訳(使いみち)

- 共同生活援助給付費、家賃補助(増分) 1,699万5千円

財源内訳

- 国の負担額 621万5千円
- 都の負担額 602万2千円
- 小平市の負担額 475万8千円



◆生活困窮者への支援の充実

1,110万円

担当：生活支援課

予算書掲載ページ：110

生活保護に至る前段階の自立支援の強化を図るため、生活困窮者に対する、自立相談支援及び子ども学習支援の充実を図るとともに、新たに、家計相談支援を実施します。

予算の内訳(使いみち)

- 自立相談支援業務委託(増分) 650万円
- 学習支援業務委託(増分) 260万円
- 家計相談支援 200万円

財源内訳

- 国の負担額 717万5千円
- 小平市の負担額 392万5千円

☆その他の事業(健康福祉)

◆社会福祉団体育成事業経費(小平市社会福祉協議会など)	1億6,926万6千円
◆障害者福祉センター、あおぞら福祉センター経費	3億578万4千円
◆障害者自立支援給付経費	38億9,477万1千円
◆障害者地域生活支援事業経費(日常生活用具給付、移動支援など)	2億6,307万6千円
◆障害者福祉推進事業経費(各種補助事業など)	3億1,252万1千円
◆障害者助成費事業経費(心身障害者福祉手当など)	5億7,467万3千円
◆国民健康保険事業特別会計繰出金	26億3,000万円
◆介護予防・生活支援事業経費 (高齢者住宅経費、特養老人ホーム建設費補助など)	2億4,258万8千円
◆高齢者福祉施設経費(福社会館、さわやか館、ほのぼの館など)	1億773万9千円
◆高齢者福祉推進事業経費(老人クラブ補助、敬老記念品など)	2,374万7千円
◆高齢者助成費事業経費(おむつ支給)	1,188万円
◆後期高齢者医療特別会計繰出金	18億6,900万円
◆介護保険事業特別会計繰出金	18億9,200万円
◆生活保護事業経費	62億1,298万8千円
◆健康診査・予防接種・がん検診等経費	7億2,353万7千円
◆健康教室・乳幼児健康診査等経費	2億545万6千円

◆学校施設の整備【一部再掲】

担当：教育総務課

6億1,570万円

予算書掲載ページ：248、258

五小、十小及び花小金井小の増築等設計、三小の外構設計を行います。
また、十小の増築・大規模改造工事、二小の大規模改造工事（太陽光発電装置設置を含む）、児童数増加に伴う五小の図書室等の普通教室化工事、学園東小学校のプール更衣室等改築工事、六小の防火シャッター改修工事、十五小・四中の体育館のスロープ設置工事等を行います。

予算の内訳（使いみち）

●五小、十小増築・大規模改造設計	2,822万9千円
●花小金井小増築設計	870万円
●三小外構整備設計	2,322万円
●十小増築・大規模改造	2億973万8千円
●二小大規模改造	2億2,100万円
●五小図書室普通教室化工事	3,095万1千円
●学園東小プール更衣室改築	5,200万円
●六小防火シャッター改修	1,786万2千円
●十五小、四中体育館スロープ設置	2,400万円



大規模改造が予定されている二小

財源内訳

■国の負担額	3,420万1千円
■都の負担額 (市町村総合交付金)	9,000万円
■小平市の負担額	4億9,149万9千円
（うち市の貯金取崩し	6,500万円）
（うち市の借金	3億7,250万円）

◆学校体育館の防災機能強化

担当：教育総務課

3億5,129万9千円

予算書掲載ページ：248、258

体育館の天井等落下防止対策として、吊り天井の撤去改修及び吊り下げ式バスケットゴールの撤去更新を計画的に実施します。平成28年度は、六小体育館アリーナ天井・一中体育館武道場の吊り天井の撤去改修工事と、9校（五・八・学園東・上宿小学校、二・三・四・六・上水中学校）のバスケットゴールの撤去更新工事を行います。

予算の内訳（使いみち）

●吊り天井の撤去改修	1億4,822万5千円
●吊り下げ式バスケットゴールの撤去更新	2億307万4千円

財源内訳

■国の負担額	3,999万9千円
■小平市の負担額	3億1,130万円
（うち市の貯金取崩し	7,000万円）
（うち市の借金	2億3,320万円）

◆花小金井南中学校地域開放型体育館の建設

590万円

担当：教育総務課

予算書掲載ページ：258

花小金井南中学校の拡張用地に、地域開放型体育館を建設します。平成28年度から設計を行い、平成31年度から建築工事を行う予定です。

予算の内訳（使いみち）

●基本設計 590万円

財源内訳

■小平市の負担額 590万円

◆通学路への防犯設備の整備

921万9千円

担当：学務課

予算書掲載ページ：250

小学校の通学路における児童の見守り活動を補完するため、1校当たり5台の防犯カメラを設置します。平成27年度から平成30年度までに全小学校で整備する予定であり、平成28年度は5校の整備を行います。

予算の内訳（使いみち）

●防犯カメラ購入 799万2千円
●設備保守 48万6千円
●申請手数料等 54万円
●電気料金 13万6千円
●電柱使用料 6万5千円

財源内訳

■都の負担額 426万6千円
■小平市の負担額 495万3千円

◆小学校給食調理業務の委託化

5,377万4千円

担当：学務課

予算書掲載ページ：312、314

鈴木小及び学園東小で給食調理業務を委託化します。また、平成29年度から委託実施予定の二小で、強化磁器食器等を購入し、給食環境の整備を行います。

予算の内訳（使いみち）

●給食調理業務委託（増設分） 4,515万6千円
●強化磁器食器・食器かご（増設分） 317万円
●厨房機器（増設分） 544万8千円

財源内訳

■都の負担額 1,610万円
（市町村総合交付金）
■小平市の負担額 3,767万4千円



委託化された給食調理業務の様子

◆アレルギー対応管理システムの導入

14万5千円

担当：学務課

予算書掲載ページ：314

各小学校に配備している献立作成用の栄養管理ソフトにアレルギー対応のための機能を追加し、アレルギー管理の効率化を図り、児童の安全管理を推進します。

予算の内訳（使いみち）

- リース料

14万5千円

財源内訳

- 小平市の負担額

14万5千円

◆教育振興基本計画の取組の検証・見直し

300万円

担当：教育総務課

予算書掲載ページ：236、238

平成25年度から34年度までの10年間の計画期間とした「小平市教育振興基本計画」について、計画に掲げる数値目標の達成度を確認するため、アンケート調査を実施します。結果に応じて、取組の検証や新たな目標の設定を行います。

予算の内訳（使いみち）

- アンケート調査

300万円

財源内訳

- 小平市の負担額

300万円

◆特別支援教育の充実

2,355万1千円

担当：学務課、指導課

予算書掲載ページ：242、250、252

発達障がい等の特別な教育的支援を必要とする児童・生徒のため、特別支援教育支援員の配置を拡充します。

また、固定制の知的障害学級に導入しているタブレット端末を、平成28年度は新たに小学校3学級にリースにより導入します。

さらに、現在通級指導学級に通って受けている特別な指導を在籍校で受けられるようにするため、平成29年度から新たに特別支援教室を設置する6校について、教材及び備品等の購入を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 特別支援教育支援員の配置 384万9千円
- タブレットパソコン導入 214万円
- 特別支援学級の整備 1,756万2千円

財源内訳

- 都の負担額 180万円
- 小平市の負担額 2,175万1千円

◆放課後子ども教室の拡充

担当：地域学習支援課

3,798万6千円

予算書掲載ページ：276

放課後や週末等に学校を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちが地域の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

平成28年度は、小学校19校において、勉強やスポーツ・文化活動、地域の方々との交流等の機会を提供します。また、中学校においては学習活動を中心に5校が実施します。

予算の内訳（使いみち）

- 運営委員会・コーディネーターへの謝礼 789万4千円
- 運営委員会消耗品費 34万円
- 放課後子ども教室実行委員会委託料 2,954万2千円
- 開設備品購入費 21万円

財源内訳

- 都の負担額 2,529万5千円
- 小平市の負担額 1,269万1千円



放課後子ども教室の盆太鼓教室
（ドイツからの視察団を受け入れた時の様子）

◆東京オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた気運醸成

担当：文化スポーツ課、公民館

457万2千円

予算書掲載ページ：282、284、
286、306

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、スポーツボランティアの発掘・育成を行うほか、オリンピック・パラリンピックの理解促進やスポーツの普及啓発、障がい者スポーツの振興等を目的としたイベントを実施します。また、気運醸成のための講演会や、国際理解や英会話の講座を実施します。

予算の内訳（使いみち）

- スポーツボランティア養成講座 45万9千円
- 小平市の魅力再発見イベント 195万円
- ノルディック・ウォーキング教室 33万5千円
- 障がい者スポーツデモンストレーション 73万8千円
- 在日外国人向けイベント 45万円
- 講演会・講座の実施 64万円

財源内訳

- 都の負担額 264万4千円
- 小平市の負担額 192万8千円



ノルディック・ウォーキング教室の様子



在日外国人向けの茶道講習会の様子

◆スポーツ振興の基本方針の策定

387万円

担当：文化スポーツ課

予算書掲載ページ：306

東京オリンピック・パラリンピック競技大会が行われる平成32年度までを対象期間とした「スポーツ振興の基本方針」を策定するため、検討委員会の開催やスポーツ振興に関する市民の意識・実態調査を行います。

予算の内訳（使いみち）

●検討委員謝礼	87万円
●スポーツ振興に関する市民意識・実態調査	300万円

財源内訳

■都の負担額	193万5千円
■小平市の負担額	193万5千円

☆その他の事業（教育・生涯学習）

◆小学校経費（小学校施設維持管理・就学援助・保健事業・給食運営事業など）	14億783万円
◆中学校経費（中学校施設維持管理・就学援助・保健事業・給食運営事業など）	8億6,998万4千円
◆公民館経費	4億2,271万1千円
◆図書館経費	8億3,940万4千円
◆体育館・体育施設経費	3億6,738万3千円

4 住みやすく、希望のあるまちをめざして —都市基盤・交通・産業—

住みやすく魅力あふれるまち、だれもが気持ちよく過ごすことができるように駅前や道路が整備され、すべての人々にとって親しみがあり、生活に便利な味わいのあるまちの実現をめざします。

◆都市計画マスタープランの改定

630万4千円

担当：都市計画課

予算書掲載ページ：218

都市計画マスタープランの事業目標年次を平成28年度末としていることから、マスタープランの見直し作業を平成26年度から実施しています。平成28年度は主に地域別構想を検討し、改定作業を完了します。

予算の内訳（使いみち）	
● 検討委員会委員謝礼	60万5千円
● 消耗品費	5万円
● 計画策定支援委託	564万9千円

財源内訳	
■ 小平市の負担額	630万4千円



市民懇談会「まちづくりカフェ」の様子

◆小川駅西口地区再開発事業の推進

340万円

担当：地域整備支援課

予算書掲載ページ：220

再開発準備組合に対して活動費を補助し、技術的支援を行います。また、既存通路の活用も含めて駅東西自由通路の整備手法の検討を行います。

予算の内訳（使いみち）	
● 東西自由通路検討	300万円
● 補助金（準備組合へ）	40万円

財源内訳	
■ 小平市の負担額	340万円



現在の小川駅西口

◆小平駅北口地区再開発事業の推進

540万円

担当：地域整備支援課

予算書掲載ページ： 220

平成27年9月に設立した再開発準備組合に対して活動費を補助し、技術的支援を行うとともに、対象区域内の現況測量を行います。

予算の内訳（使いみち）	
●測量等委託	500万円
●補助金（準備組合へ）	40万円

財源内訳	
■小平市の負担額	540万円



現在の小平駅北口

◆小平都市計画道路3・4・23号線の整備

1,607万2千円

担当：道路課

予算書掲載ページ： 228

平成27年度末に供用開始したことを受け、平成28年度は自然環境調査、道路管理図・整備効果資料の作成を行うほか、玉川上水に新設した百石橋（ひゃっこくばし）について、橋名由来柱の設置工事を行います。

予算の内訳（使いみち）	
●玉川上水自然環境調査委託	464万4千円
●道路管理図・整備効果資料作成	892万8千円
●橋名由来柱設置工事	250万円

財源内訳	
■小平市の負担額	1,607万2千円



平成27年度末に供用開始された都市計画道路3・4・23号線

◆都市計画道路整備の推進

1億6,535万4千円

担当：道路課

予算書掲載ページ：228

小川町一丁目地区の都市計画道路3・3・3号線の整備は、東京都と市が協力して都道の整備を行う「新みちづくり・まちづくりパートナー事業」で事業を進めており、平成28年度は武蔵野美術大学区間の街路築造工事や自然環境調査などを行います。このほか「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」により優先整備路線に選定された都市計画道路3・4・10号線や3・4・19号線の早期事業化に向け、関係機関と協議を進めます。

予算の内訳（使いみち）

- 新みちづくり・まちづくりパートナー事業
（自然環境調査・街路築造工事等）
1億5,347万4千円
- 都市計画道路調査事業
（協議用資料作成・現況調査等）
1,188万円

財源内訳

- 小平市の負担額
（うち市の借金）
1億6,535万4千円
1億3,050万円



整備を進めている都市計画道路3・3・3号線（建物移転後）

◆道路整備事業の充実

5億1,655万6千円

担当：道路課

予算書掲載ページ：214、216

道路新設改良事業として5か所（①～⑤）、道路維持補修事業として10か所（□1～□10）を予定しています。また、引き続き私道に対する助成を実施します。

※道路整備予定箇所については、次ページに掲載しています。

予算の内訳（使いみち）

- 道路新設改良工事
1億4,170万4千円
- 道路維持補修工事
3億737万円
- 私道補助
6,748万2千円

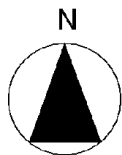
財源内訳

- 都の負担額
1億620万円
（うち市町村土木補助）3,870万円
（うち地域福祉推進区市町村包括補助）1,100万円
（うち市町村総合交付金）5,650万円
- 私道補助事業受託収入
666万円
- 小平市の負担額
4億369万6千円
（うち市の貯金取崩し）200万円
（うち市の借金）3億3,560万円



道路新設改良工事の様子

平成28年度 道路整備予定箇所図



凡 例	
○	道路新設改良事業
□	道路維持事業

◆道路構造物の老朽化対策

2,650万4千円

担当：道路課

予算書掲載ページ：214

道路ストック総点検により実施した路面性状調査（ひび割れ、わだち掘れ等）や、平成27年度に引き続き実施する空洞化調査をもとに舗装のメンテナンスサイクルを構築するため、「（仮称）舗装維持管理基本方針」を策定し、安全性の確保と効率的な維持管理を進めます。

予算の内訳（使いみち）

- 道路ストック総点検（空洞化調査）
2,298万3千円
- （仮称）舗装維持管理基本方針策定
352万1千円

財源内訳

- 国の負担額 880万円
- 小平市の負担額 1,770万4千円

◆官民境界等先行調査の実施

1,932万5千円

担当：道路課

予算書掲載ページ：206、214

市が管理する道路等と民有地との境界について、街区単位で測量等を行う官民境界等先行調査を実施します。平成28年度は学園東町一丁目・二丁目の一部、喜平町二丁目・三丁目の一部の地域で実施します。

予算の内訳（使いみち）

- 官民境界等先行調査 1,899万2千円
- 支援システム保守点検等 33万3千円

財源内訳

- 都の負担額 1,275万円
- 小平市の負担額 657万5千円



平成27年度に実施した先行調査の様子

◆産業振興基本計画の策定

475万9千円

担当：産業振興課

予算書掲載ページ：192、202

平成28年度、平成29年度で農業、商業、工業、観光の連携を図るための基本計画（小平市第三次都市農業基本構想を含む）を策定するもので、平成28年度は実態調査を実施します。

予算の内訳（使いみち）

- 検討委員会委員謝礼 76万2千円
- 調査等業務委託 399万7千円

財源内訳

- 小平市の負担額 475万9千円

◆創業支援事業の拡充

担当：産業振興課

187万8千円

予算書掲載ページ：202

平成26年に国の認定を受けた創業支援事業計画の推進を図るため、平成28年度は金融機関と連携し、月1回、市役所に相談窓口を設置するほか、創業セミナーや創業塾、チャレンジショップ事業を拡充して実施します。

予算の内訳（使いみち）

- 創業支援事業補助金（増分） 60万円
- 創業個別相談、セミナー等委託（増分） 127万8千円

財源内訳

- 国の負担額 93万9千円
- 小平市の負担額 93万9千円



創業塾の受講者募集のチラシ

◆チャレンジ企業応援事業

担当：産業振興課

253万4千円

予算書掲載ページ：200、202

市内の中小企業者等に対し、事業化を目的とした新製品・新技術の開発、商品の改良及び新製品の販路開拓に要する経費の一部を補助するもので、平成28年度は支援数を1件増やし、7件の助成を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 選定委員会委員謝礼 3万4千円
- 対象事業者等への補助金 250万円

財源内訳

- 小平市の負担額 253万4千円



チャレンジ企業応援事業を活用した「うどん天下一決定戦2015」への出店

◆都市農地保全のための支援

担当：産業振興課

2,700万円

予算書掲載ページ： 192

農地内の防災兼用井戸の設置に対して助成を行うことで農家の支援を行うとともに、農地の防災機能としての強化を図ります。平成28年度は8件の補助を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 防災兼用井戸（発電機器を含む）の設置補助
2,700万円

財源内訳

- 都の負担額 2,250万円
- 小平市の負担額 450万円



平成27年度に設置された防薬シャッター

◆都市農業活性化支援事業

担当：産業振興課

1,206万9千円

予算書掲載ページ： 194

今秋に建替えオープンとなるJA東京むさしファーマーズ・マーケットについて、什器類の整備の支援を行うことで、共同直売所の拡充を支援し、生産者の農業収入の増大と農業経営の安定化を図ります。

予算の内訳（使いみち）

- ファーマーズ・マーケット什器類の整備補助
1,206万9千円

財源内訳

- 都の負担額 804万6千円
- 小平市の負担額 402万3千円



JA東京むさしファーマーズ・マーケット完成予想図

◆「(仮称)小平観光まちづくり連絡会」運営支援事業

2,230万円

担当：産業振興課

予算書掲載ページ：200

平成26年に策定した「小平市観光まちづくり振興プラン」に位置づけられている「(仮称)小平観光まちづくり連絡会」について、平成28年度の設立に向けた取組及び設立後の活動に対して支援を行い、観光まちづくりを推進します。

予算の内訳(使いみち)

- 「(仮称)小平観光まちづくり連絡会」への助成 2,230万円

財源内訳

- 国の負担額 610万7千円
- 多摩・島しょわがまち活性化事業助成金 299万2千円
- 小平市の負担額 1,320万1千円



プチ田舎会議でのグループワークの様子

☆その他の事業

- ◆交通安全対策経費(交通安全、自転車対策) 3億9,633万2千円
- ◆道路橋りょう経費(駅前広場、市道の管理、里道等管理) 1億5,697万2千円

5 健全で、進化するまちをめざして —地方自治・行財政—

都市として進化する魅力あふれるまち、自己の責任で都市の行財政の運営をめざすことによって、まちの輝きを持ち続け、またみんなに信頼され進化するまちをめざします。

◆社会保障・税番号制度に係るシステム改修

担当：情報政策課

7,217万5千円

予算書掲載ページ：62、64

マイナンバー制度（社会保障・税番号制度）の導入に伴う個人番号の利用に必要な情報連携に対応するためのシステム改修を行います。平成28年度は情報提供ネットワークシステムを通じた他団体等との連携に向けた対応を行います。

予算の内訳（使いみち）

- システム改修費 6,949万7千円
- 中間サーバー負担金 267万8千円

財源内訳

- 国の負担額 1,196万4千円
- 小平市の負担額 6,021万1千円

◆公共施設マネジメントの推進

担当：行政経営課

195万3千円

予算書掲載ページ：62

将来の社会情勢の変化などを見据え、これからの公共施設のあり方を示した小平市公共施設マネジメント基本方針に基づき、全庁的な観点から推進します。平成28年度は、基本方針に沿った具体的な取組を示す、「（仮称）公共施設適正配置実施計画」及び国からの要請に基づく道路、橋りょうなどのインフラを含めた横断的な「（仮称）公共施設等総合管理計画」の策定等を実施します。

予算の内訳（使いみち）

- アドバイザー、委員謝礼等 33万2千円
- 印刷・消耗品・臨時職員賃金 162万1千円

財源内訳

- 小平市の負担額 195万3千円



市報特集号（平成28年2月5日号）の一面

◆地方公営企業会計への移行

担当：下水道課

1,846万8千円

平成28年度小平市下水道事業特別会計予算書掲載ページ：16

下水道事業を今後3年間かけて官公庁会計から公営企業会計へ移行します。平成28年度は、工事関連情報等の整理、資産データの作成などを行います。

予算の内訳（使いみち）

- 固定資産調査・評価業務等委託 1,846万8千円

財源内訳

- 下水道使用料 923万4千円
- 小平市の負担額 923万4千円